

令和4年度文化庁委託事業
「地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会(中四国地域)」開催要項

- 1 事業名 地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会(中四国地域)
- 2 趣 旨 劇場・音楽堂等の職員を対象として、アートマネジメントに関する専門的な研修を行うことにより地域の文化芸術の振興と劇場・音楽堂等の活性化に資する。
- 3 主 催 文化庁・公益社団法人 全国公立文化施設協会
- 4 開催日 令和4年12月15日(木)～12月16日(金)[2日間]
- 5 会 場 JMSアステールプラザ
〒730-0812 広島県広島市中区加古町4番17号
電話 082-244-8000
- 6 日程及び内容 別紙のとおり
- 7 受講者 (1) 劇場・音楽堂等に勤務する職員(指定管理者及び劇場・音楽堂等の管理・運営業務等を受託している企業等からの派遣職員も含む)
(2) 地方自治体の文化芸術行政担当職員及び劇場・音楽堂等施設関係者
(3) 民間の舞台技術関係者、大学等の高等教育機関・舞台技術やアートマネジメントの教育関係者・学生等、また関心のある市民等
- 8 申込方法 別紙 出欠通知書データにご入力の上、メールまたはFAXにて、後記 10 の宛先まで提出してください。
- 9 申込期日 令和4年11月24日(木)
- 10 連絡・問い合わせ先
JMSアステールプラザ 担当:糸賀、加藤
TEL:082-244-8000 / FAX:082-246-5808
E-mail: aster_08@cf.city.hiroshima.jp

令和4年度文化庁委託事業
「地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会(中四国地域)」開催要項
日程・内容

日 程:令和4年12月15日(木)～12月16日(金)

会 場: JMSアステールプラザ 2階 多目的スタジオ

日 時	科目	内 容	講 師	
12/15 (木)	13:30～ 14:00	受付	<受付場所>多目的スタジオ前	
	14:00～ 14:10	開講式		
	14:10～ 15:40	講義Ⅰ 【講演】	「withコロナに向けての公立劇場運営 ～地域連携と文化の復興～」	講師 大澤 寅雄氏 (株)ニッセイ基礎研究所主任研究員)
			休憩	
	16:00～ 17:30	講義Ⅱ 【対談】	「芸術文化を中心としたまちづくり ～長野、豊岡の事例を参考に～」	講師 野村 政之氏 (信州アーツカウンシル((一財)長野県 文化振興事業団)ゼネラル・コーディネ ーター) 河村 竜也氏 (芸術文化観光専門職大学助教/豊岡 演劇祭プロデューサー)
			休憩	
	19:00～ 21:00	情報交換会	会場 「和ダイニング アストラル」(メルパルク広島 2階)	
12/16 (金)	9:00～ 9:30	受付	<受付場所>多目的スタジオ前	
	9:30～ 11:45 (途中休憩 15分)	講義Ⅲ 【座談会】	「地方の公立劇場で演劇事業をする ということ～アステールプラザの演劇事業 を題材に～」	講師等 杉山 至氏 (セノグラファー/芸術文化観光専門職 大学准教授) 河村 竜也氏 (芸術文化観光専門職大学助教/豊岡 演劇祭プロデューサー) 福名 理穂氏 (劇作家/演出家) 神明 恒彦氏 (公財)広島市文化財団アステールプ ラザ主幹)
	11:45～	閉講式	閉講式後、解散	

研修会講師等プロフィール

《講義Ⅰ》【講演】

おおさわ とらお
大澤 寅雄（株）ニッセイ基礎研究所主任研究員）

1970年生まれ。慶應義塾大学卒業後、劇場コンサルタントとして公共ホール・劇場の管理運営計画や開館準備業務に携わる。2003年文化庁新進芸術家海外留学制度により、アメリカ・シアトル近郊で劇場運営の研修を行う。帰国後、NPO法人STスポット横浜の理事および事務局長、東京大学文化資源学公開講座「市民社会再生」運営委員を経て現職。共著＝『これからのアートマネジメント“ソーシャル・シェア”への道』『文化からの復興 市民と震災といわきアリオスと』『文化政策の現在3文化政策の展望』『ソーシャルアートラボ 地域と社会をひらく』。(株)ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室主任研究員、NPO法人アートNPOリンク理事長、日本文化政策学会理事、九州大学社会包摂デザイン・イニシアチブのアドバイザー。

《講義Ⅱ》【対談】

のむら まさし
野村 政之（信州アーツカウンシル（(一財)長野県文化振興事業団）ゼネラル・コーディネーター）

1978年生まれ。長野県塩尻市出身。大学から演劇活動を始め、公共ホール、民間劇場・劇団制作部勤務を経て、2012、13年（公財）東京都歴史文化財団・アーツカウンシル東京のアーツアカデミー調査員、2014年より（公財）沖縄県文化振興会・沖縄アーツカウンシルでプログラムオフィサーを務める。並行して、舞台芸術の企画制作、創造活動に携わり各地の芸術祭などに参加。2018年より22年3月まで長野県県民文化部文化政策課文化振興コーディネーターとして、文化施策の推進や県内の文化芸術活動の支援に携わる。22年4月より現職。NPO法人舞台芸術制作者オープンネットワーク理事、一般社団法人全国小劇場ネットワーク代表。

かわむら たつや
河村 竜也（芸術文化観光専門職大学助教／豊岡演劇祭プロデューサー）

1980年生まれ。広島出身。2002年に広島市立大学芸術学部美術学科油絵専攻を卒業後、広島で演劇活動を経た後、2005年に平田オリザ氏主宰の劇団「青年団」に入団。約15年間、東京を中心に主に俳優、プロデューサーとして、劇団「ホエイ」を立ち上げるなど国内外で活動を広げる。2020年から「豊岡演劇祭」のプロデューサーとして主にフリンジ部門を担当。2021年には「芸術文化観光専門職大学」の助教に就任。専門分野は、アートプロデュース、アートマネジメント等。

《講義Ⅲ》【座談会】

すぎやま いたる
杉山 至（セノグラファー*／芸術文化観光専門職大学准教授）

1966年生まれ。国際基督教大学卒。在学中より劇団青年団に参加。2001年度文化庁芸術家在外研修員としてイタリアにて研修。近年は青年団、地点、サンプル、てがみ座、デラシネラ、DanceTheatre LUDENS など、演劇／ダンス／ミュージカル／オペラ等幅広く舞台美術を手掛ける。2014年、第21回読売演劇大賞・最優秀スタッフ賞受賞。舞台美術研究工房・六尺堂ディレクター、女子美術大学非常勤講師、NPO法人S.A.I.理事、二級建築士。演劇引力広島 第8～10回プロデュース公演舞台美術担当。2021年より、芸術文化観光専門職大学（豊岡）准教授

*セノグラファー：舞台の空間・背景をデザインする人、舞台美術家

かわむら たつや
河村 竜也（芸術文化観光専門職大学助教／豊岡演劇祭プロデューサー） [再掲]

1980年生まれ。広島出身。2002年に広島市立大学芸術学部美術学科油絵専攻を卒業後、広島で演劇活動を経た後、2005年に平田オリザ氏主宰の劇団「青年団」に入団。約15年間、東京を中心に主に俳優、プロデューサーとして、劇団「ホエイ」を立ち上げるなど国内外で活動を広げる。2020年から「豊岡演劇祭」のプロデューサーとして主にフリンジ部門を担当。2021年には「芸術文化観光専門職大学」の助教に就任。専門分野は、アートプロデュース、アートマネジメント等。

ふくな りほ
福名 理穂（劇作家／演出家）

1991年生まれ。広島県出身、東京都在住。20歳まで広島で過ごし、中学時代から「役者と触れ合う仕事がしたい」という漠然とした夢を抱えて上京。19歳の頃ノゾエ征爾氏（はえぎわ）の『ガラパコスパコス～HIROSHIMA ver.～』(演劇引力広島第9回プロデュース公演／2012)に演出部として参加し、演劇の表現の豊かさに感銘を受ける。2012年、奥山雄太氏（ろりえ）のゼミに一年間通い、作・演出として短編作品をいくつかつくる。卒業後、はえぎわ、ろりえ、小松台東、などのスタッフとして経験を経て、日常のリアルな会話と心情を描く舞台を目指す。2014年7月ぱぷりかを旗揚げ。以降、ぱぷりか全作品の作・演出を務める。2017年こまばアゴラ演劇学校“無隣館”演出部に所属。無隣館若手自主企画福名企画の公演を経て、2019年4月青年団演出部入団。2021年に上演した第5回公演『柔かく揺れる』で、第66回岸田國土戯曲賞受賞。

しんめい つねひこ
神明 恒彦（(公財)広島市文化財団アステールプラザ主幹）

1963年生まれ。広島出身。楽器の製造・卸会社から音響会社を経て、1992年公益財団法人広島市文化財団入職、区民文化センターで施設管理及び文化事業の企画運営を担当。2006年にアステールプラザへ配属となり、演劇事業やダンス事業の企画運営に携わる。2014年から演劇事業統括、2022年からオペラ事業を含むアステールプラザの文化事業統括を担当。